



会報

第 6 号

一般社団法人 京都野球協会

佐々会長 挨拶



会員の皆様におかれましては、平素より京都野球協会の活動にご支援を賜り、誠に有難うございます。

京都野球界の為に永年多大な貢献をされた山下登氏が三月末に亡くなりました。当協会の副会長だけでなく、京都府野球連盟の専務理事も務められ、京都での野球の発展・普及に関わる様々な活動をされ、京都の野球界にはなくてはならない存在でした。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

佐々会長は、京都での野球の発展・普及に関わる様々な活動をされ、京都の野球界にはなくてはならない存在でした。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

元号が令和となり最初の京都野球殿堂への顕彰につきまして、わかさスタジアム京都の施設の整備・設備の拡充に尽力された富田仁義雄氏と日本プロ野球の選手から監督・球団社長を務められた岡本伊三美氏の二名を顕彰する予定で準備を進めております。

また、昨年亡くなられた衣笠祥雄氏のご功績を称え、その名を後世に残したいとの思いから、ジャイアンツカップ京滋予選を衣笠祥雄旗全京滋中学硬式野球大会と命名し、優勝旗を寄贈させて頂き、当協会が主催で開催することになりました。

当協会では京都野球界の更なる発展の為、様々な事業に携わっていきたいと考えておりますので、皆様方からもご指導・ご支援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

2019年定期総会開催される

京都野球協会第38回総会報告

2月22日(金)午後6時より新・都ホテルに於いて恒例の定期総会が、52名の出席の下、開催された。開会に先立ち、昨年亡くなった方々のご冥福を祈り黙祷が捧げられた。続いて、佐々会長から挨拶があり、引き続いて、司会の松本総務委員長から、協会定款第21条に則り定足数を確認の上、総会の開会を宣言された。総会議長には、同定款第20条に則り佐々会長が務められ、議事が進行された。



(一社)京都野球協会 平成31年度(第39回)総会



1. 議 事

第1号議案 任期満了に伴う理事の選任について

原田理事長から、定款第31条に則り役員の任期満了に伴う改選の説明があり、新たな理事候補者として重任、新任の報告があった。続けて、定款28条に則り新理事の中から代表理事、専務理事、常務理事の推薦案の提案があった。質疑の後承認を求めたところ、満場一致で承認された。新役員は次のとおり。

会 長 佐々嘉孝

副会長 山下 登、樫木 寛

理事長 原田守光

常務理事 森永芳樹(普及委員長)、松本友夫(総務委員長)、木下幸典(会計)、井田保則

理事 片山寄世史、向島 章、奥野正彦、池田盛造、佛円清太郎(新任)、袋布幸信、田中弘一、梅井勝彦、村上光男、宮本隆祉、徳岡五男、行待敏博、石井幸男

監事 池田 満、溝口 潔

以上 23名

第2号議案 平成30年度事業報告「資料1」

原田理事長から、平成30年度事業報告について、資料に基づいて報告があった。

〈資料1. 平成30年度 事業報告〉

月	主催行事・事業等
1月	機関紙「野球人京都」発刊 第1回常務理事会開催 少年野球教室開催（協賛 日本新薬）
2月	第1回理事会開催 第2回理事会開催 第38回総会・懇親会開催
4月	第1回京都野球殿堂委員会開催
5月	第2回京都野球殿堂委員会開催
6月	機関誌「会報」発刊 第5回京都野球殿堂 除幕式 第2回常務・第3回理事合同会議開催
7月	硬式野球入門教室 参加者説明会開催
8月	硬式野球入門教室 トレーニング講習会開催 第31回学童野球フェスティバル開催 第1回硬式野球入門教室開催 第3回京都野球殿堂委員会開催
10月	第2回硬式野球入門教室開催 第3回硬式野球入門教室開催 第4回京都野球殿堂委員会開催
11月	第4回硬式野球入門教室開催 第3回常務・第4回理事合同会議開催 第5回硬式野球入門教室開催 第22回京都野球祭 第6回硬式野球入門教室開催 第7回硬式野球入門教室開催 第8回硬式野球入門教室開催
12月	第9回硬式野球入門教室開催 第10回硬式野球入門教室開催

月	後援団体等開催行事	出席者
1月	賀詞交歓会（主催 京都市体育協会）	佐々会長、原田理事長
2月	第31回京都五百歳野球大会開会式 八幡少年野球審判講習会	佐々会長、原田理事長 森永、池田、梅本、向島
4月	八幡少年野球大会 開会式 中学校野球大会抽選会	原田理事長 原田理事長
6月	全京都大学野球トーナメント大会開会式 中学校野球大会抽選会	佐々会長 原田理事長
7月	リトルシニア野球協会壮行会	原田理事長、森永常務理事
9月	スポーツフェスタ開会セレモニー	原田理事長
11月	花園高校硬式野球部70周年記念式典 京都リトルシニア協会試合レセプション 少年野球教室 ニチダイ野球部主催	佐々会長、原田理事長 原田理事長、森永常務理事 森永常務理事

大 会	出場チーム
第90回 選抜高校野球大会	乙 訓 高 等 学 校
第67回 全日本大学野球選手権大会出場	立命館大学、京都学園大学
第89回 都市対抗選手権大会出場	日 本 新 薬 株 式 会 社
第100回 全国高等学校野球選手権大会出場	龍谷大学付属平安高等学校

第3号議案 平成30年度収支決算報告「資料2」

続いて、木下会計から、平成30年度収支決算について資料に基づいて報告があり、両議案併せて承認を求めた。満場一致で承認された。

〈資料2. 平成30年度 収入支出決算書〉

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目		科 目	
会 費 収 入	1,663,000	運 営 費	940,261
①個 人 会 費	409,000	①会 議 費	58,110
②賛 助 会 費	960,000	②総 会 費	469,591
③総 会 会 費	294,000	③事 務 通 信 費	99,902
事 業 収 入	300,000	④諸 費	282,311
①野 球 教 室	270,000	⑤H P 管 理 費	30,347
②広 告 収 入	30,000	事 業 費	1,019,503
そ の 他 収 入	196,006	①総 務 事 業	136,952
①助 成 金	176,000	②普 及 事 業	735,574
②雑 収 入	20,000	③野 球 殿 堂 事 業	146,977
③預 金 利 息	6		
前 期 繰 越 金	979,420	次 期 繰 越 金	1,178,662
計	3,138,426	計	3,138,426

平成30年12月31日現在預金残高 京都中央信用金庫常盤支店	
普 通 預 金	1,178,662
定 期 預 金	3,000,891
合 計	4,179,553

平成30年度収入支出計	
収 入 計	2,159,006
支 出 計	1,959,764
	199,242

第4号議案 平成31年度事業計画（案）「資料3」

第5号議案 平成31年度収支予算（案）「資料4」

原田理事長から、平成31年度事業計画案について、続けて、平成31年度収支予算について、資料に基づいて説明があり、両議案併せて承認を求めた。満場一致で承認された。

〈資料3. 平成31年度 事業計画〉

月	事 業 等
1月	機関紙「野球人京都」発刊 第1回常務理事会開催 少年野球教室開催（協賛・日本新薬）
2月	第1回理事会開催 第2回理事会開催 第38回総会・懇親会開催
4月	第1回京都野球殿堂委員会開催
6月	機関紙「会報」発刊 第2回常務・第3回理事合同会議開催 第5回京都野球殿堂除幕式開催
7月	ジャイアンツカップ開催 硬式野球入門教室参加者説明会開催
8月	硬式野球入門教室（第1・2・3・4回）実施 第32回学童野球フェスティバル開幕
9月	硬式野球入門教室（第5・6・7・8回）実施 第3回常務・第4回理事合同会議開催
10月	硬式野球入門教室（第9・10回予備日）
11月	第4回常務・第5回理事合同会議開催 第22回野球祭開催

〔資料4. 平成31年度 収入支出予算書〕

科 目	予算額	科 目	予算額
< 収入の部 >		< 支出の部 >	
会 費 収 入	1,900,000	運 営 費	1,031,000
①個人会費	600,000	①会議費	100,000
②賛助会費	1,000,000	②総会費	390,000
③総会費	300,000	③事務通信費	310,000
事業収入	280,000	④諸費	200,000
①教室参加費	250,000	⑤H P 管理費	31,000
②広告費	30,000	事業費	2,292,000
その他収入	251,000	①総務事業	150,000
①助成金	200,000	②普及事業	984,000
②雑収入	50,000	③野球殿堂事業	1,158,000
③預金利息	1,000	< 予 備 費 >	286,662
< 繰 越 金 >	1,178,662	< 次期繰越金 >	
計	3,609,662	計	3,609,662

その他のご報告

■平成30年度補助金制度に申請・助成金を受給

○京都府体育協会（現・京都府スポーツ協会）が行う補助事業「もっと元気な京都のスポーツ推進事業」に、当協会が主催して行った「硬式野球入門教室」が補助対象に採択され76,000円の補助金を受給した。

○京都市体育協会（現・京都市スポーツ協会）が行う補助事業「エンジョイスports事業」に、当協会が主催して行った「硬式野球入門教室」、「学童野球フェスティバル」及び「少年野球教室」が補助対象に採択され、合せて100,000円の補助金を受給した。

■山下登副会長逝く

当協会の副会長としてご功績のありました山下登様が平成31年3月30日お亡くなりになりました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■ジャイアンツカップ主催

令和元年度から当協会が、全日本中学野球選手権大会「ジャイアンツカップ」の京滋地区代表を決定する大会を主催して



行うことになった。6月30日（日）太陽が丘球場で、各連盟から代表の17チームが参加して開幕する。優勝チームには「衣笠祥雄旗」（（株）アイアイ寄贈）が贈られる。

今年度の実施事業と今後の予定

実施事業

■少年野球教室開催される

1月26日（土）わかさスタジアム京都に於いて、約150名の少年少女の参加を得て開催された。講師には、今年も日本新薬野球部の選手の皆さんの協力を得て実施した。少年達は、各ポジションごとに分



かれて、守備・バッティングの基本動作の指導を受けた。終始甲高い声が球場に響いた。

第91回選抜高等学校野球大会出場校激励



第91回選抜野球大会に出場される龍谷大学平安高校硬式野球部の三條場裕之部長、福知山成美高校硬式野球部の井本自宣監督に対し、佐々会長から出場をお祝する記念品（目録）が授与された。

懇親会開催

引続いて、懇親会が行待理事の司会で開催された。

最初に佐々会長の開催挨拶、続いて、門川大作市長の代理で京都市文化市民局スポーツ担当局長の瀬川彰様からの祝辞、京都市体育協会副会長の藤野英雄様の乾杯のご発声の後、和やかなうちに進められた。

懇談中、龍谷大学平安高校硬式野球部の三條場裕之部長、福知山成美高校硬式野球部の井本自宣監督から選抜大会への決意が表明され、会場から激励



する声援が沸き上がって盛り上がった。

山下副会長の閉会挨拶で午後9時閉会された。

ご来賓紹介

- 瀬川 彰 様 京都市文化市民局スポーツ担当局長
- 藤野 英雄 様 京都市体育協会副会長
- 佐々 祐子 様 京滋大学野球連盟事務局長
- 山口 敦 様 産経新聞社京都総局長
- 今西 拓人 様 毎日新聞社京都支局長
- 二河伊知郎 様 読売新聞社京都総局長
- 三條場裕之 様 龍谷大学平安高等学校硬式野球部長
- 井本 自宣 様 福知山成美高等学校硬式野球部監督

他

今後の開催事業の予定

■第6回京都野球殿堂除幕式

第6回京都野球殿堂除幕式が、6月15日(土)わかさスタジアム京都(西京極球場)にて举行される。今回は、プロ野球の南海ホークス、近鉄バッファローズなどで選手として、監督として活躍された岡本伊三氏を、また京都府野球連盟の役員として功績のあった富田仁義雄氏が特別功労部門で顕彰されることになる。当日は、午前9時30分から開催される。



平成30年度第5回除幕式

■第5回硬式野球入門教室実施

中学3年生で、軟式野球経験者を対象とした、第5回硬式野球入門教室が以下の日程で行われる。



昨年度の野球入門教室

- 7月20日(土) 説明会開催(於市スポーツ会館)
- 7月21日(日) 事前トレーニング指導
- 8月3日(土) 第1回～11月迄の間 延10回
- 募集定員 50名
- 使用球場 アイアイグラウンド

■学童野球フェスティバル実施

第31回学童野球フェスティバルが8月(未定)から開幕する。今回も17チーム(予定)が参加して、岡崎球場、吉祥院球場等で、トーナメント形式で行う。決勝戦は11月17日(日)わかさスタジアム京都で開催する「野球祭」で行うことになる。

■第22回野球祭

令和の第1回の野球祭は、11月17日(日)わかさスタジアム京都で開催する。学童野球、中学校野球そして500歳野球のそれぞれの決勝戦が行われる。

京都野球殿堂(特別功労)



岡本 伊三美
(おかもと いさみ)

生年月日: 1931年2月26日
出身地: 大阪府大阪市
出身校: 京都市立第一工業高校
(現 京都工学院高等学校)

功 績

高等学校卒業後、1949(昭和24)年 南海ホークスへテスト生として入団、1952(昭和27)年、二塁手のレギュラーポジションを獲得、二年目のシーズン、1953(昭和28)年、打率3割1分8厘で首位打者を獲得し、その年のMVPにも輝いた。1963(昭和38)年、現役を引退するまで、ベストナイン5回、オールスター戦4回出場した。引退後は、南海・サンケイ・阪神・近鉄で、コーチ・二軍監督・打撃コーチ・ヘッドコーチを経て、1984(昭和59)年～1987(昭和62)年、近鉄の監督に就任し活躍した。その後、1999(平成11)年～2001(平成13)年、近鉄の球団社長に就任、選手・監督・球団社長を務めるなど、プロ野球界の発展に貢献した。



富田 仁義雄
(とみた にきお)

生年月日: 1920(大正9)年2月4日
没年月日: 2018(平成30)年2月27日(98歳)
出身校: 旧制立命館大学
専門学部高等商業科中退

功 績

1947(昭和22)年8月京都市役所に奉職。1959(昭和34)年硬式野球部の初代監督に就任し、8年間熱血采配を振った。その後1975(昭和50)年の退職まで、市体育館建設、西京極球場ナイター施設設置、プロ野球の誘致等に参画して行政手腕を発揮した。1988(昭和63)年には、西京極球場のスコアボード電光化の功績で京都新聞「体育賞」を受賞、岡崎運動公園や京都市体育館の建設にも尽力した。また京都府野球連盟常任理事時代、「ベストナイン表彰制度」や「京都市長杯」の事業創設に中心的役割を果たし、2018(平成30)年2月までの39年間、同連盟の副会長として生涯現役を貫いた。

発 行: 一般社団法人 京都野球協会

発行日: 令和元年6月1日

〒600-8310 京都市下京区七条通新町西入夷之町698
アイアイビル
株式会社 アイアイ内